

関西圏地盤情報データベース研究利用報告書

研究課題	地域防災のための地盤性状とハザードマップの対応の研究		
研究者	(所属と氏名) 帝塚山大学 間瀬辰也		
研究期間	2022年4月 ~2023年3月	報告日	2023年5月10日
<p>関西圏の地盤について、微地形区分、土地利用区分、ハザードマップ等の対応を比較検討し、それらの関係を明らかにする。その時に、関西圏地盤情報データベースでのデータを参考に実施した。研究方法は、GISデータを用いて地盤条件のデータを重ね合わせることで地域防災マップを作成した。GISは、オープンソースのQGISを使用した。</p> <p>データを使用した卒業論文タイトル一覧を下記にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路市における災害と避難所についての研究 ・生駒市における災害と避難所の関係による研究 ・京田辺市における災害と避難所の安全性に関する研究 ・奈良県生駒郡平群町における災害と避難所との関係の研究 ・橿原市における災害と避難所との関係に関する研究 ・奈良県天理市における災害と避難所についての研究 ・大和郡山市における災害と避難所の安全性に関する研究 <p>2022度は、詳細なボーリングデータに基づく土柱モデル(一次元解析)による地盤応答解析(等価線形解析や液状化解析)を実施することができなかった。2023年度は、関西圏地盤情報データベースの土質柱状図に基づき地盤応答解析を実施し、内閣府実施の南海トラフ地震シミュレーション結果のPL値との対応を確認する計画である。</p>			
公開資料(論文等): なし。			

※貸出期間終了後、研究利用報告書(本様式)と研究成果(論文等)を提出してください。
 ※研究利用報告書は、KG-NETのHPで公開します。